

2021年度（令和3年度）

福山市教育委員会会議録（第12回）

【2月9日（水）開催】

福山市教育委員会

福山市教育委員会会議録（第12回）

1 招集年月日 2022年（令和4年）2月9日（水）
午前9時00分

2 場 所 教育委員室

3 出席委員 5名

出席又は欠席	席番	名 前
出 席	1	三 好 雅 章
出 席	2	菅 田 章 代
出 席	3	金 仁 洙
出 席	4	横 藤 田 晋
出 席	5	小 丸 輝 子

4 会議に出席した事務局職員

教育次長	佐 藤 元 彦
管理部長	藤 井 紀 子
学校教育部長	井 上 博 貴
教育総務課長	久 保 正 敬
学事課長	亀 山 貴 治
学びづくり課長	本 宮 政 尚
学校保健課長	原 明 信
福山中・高事務長	前 田 満
文化振興課主幹	内 田 実
保育指導課長	藤 原 里 美

5 会議の書記

教育総務課総務政策担当次長	須 藤 誠
教育総務課職員	中 村 千 咲
教育総務課職員	岡 田 真 奈

【開会時刻 午前9時00分】

三好教育長	<p>それでは、ただいまから、2021年度（令和3年度）第12回福山市教育委員会会議を開会いたします。</p> <p>本日の議案ですが、議第63号は議会提出案件のため、議第64号は意思決定過程の案件のため、福山市教育委員会会議規則第13条第1項の規定により秘密会として審議し、審議の順番は公開する案件の後としたいと考えますが、御異議はございませんか。</p>
全教育委員	<p>（異議なし）</p>
三好教育長	<p>御異議なしということで、これらの案件は秘密会とし、その他の案件は公開といたします。</p> <p>では、まず初めに、日程第1 教育長の報告についてです。</p> <p>資料の1ページをお願いします。会議や善行児童生徒顕彰式、初任者研修等は、リモートで出席しております。学校訪問では、現在のコロナ感染拡大の中での学校の状況を見に行っております。4日は、主に学校再編に係る学校で、年度末から年度初めに向けた現在の状況を、校長先生に聞いてきております。どの学校においても、この間しっかりと取り組んできていただいております。学校には感謝を伝えています。現在は、閉校に向けて、また、新たな学校として開校することに向けて、それぞれしっかりと準備していただいております。</p> <p>以上です。</p> <p>続いて、事務局からの報告をお願いします。</p>
内田文化振興課主幹	<p>資料の2ページをお願いします。</p> <p>（仮称）福山市文化財保存活用地域計画の策定について、御説明いたします。</p> <p>文化財保存活用地域計画は、文化財保護法に位置づけられた市町における文化財の保存と活用に関する総合的な法定計画であり、市町の総合計画の下に体系づけられるものであります。本市では、2017年度（平成29年度）に策定いたしました「福山市歴史文化基本構想」に基づくアクションプランとして、文化財の地域における具体的な保存・活用の計画を策定するものです。</p> <p>計画の概要といたしまして、歴史文化基本構想に掲げる文化財の保存・活用の基本方針に基づき、本市に残る貴重な文化財を、所有者や専門家、行政のみならず地域全体で保存・活用し、確実に後世に継承するための実施計画として、本計画を策定いたします。また、広島県教育委員会が2020年度（令和2年度）に広島県文化財保存活用大綱を策定しており、当該大綱とも整合をとった内容といたします。</p> <p>計画の対象とする期間は、策定、翌年度の2023年度（令和5年度）から2027年度（令和9年度）までの5か年としております。</p> <p>以上です。よろしく願いいたします</p>
藤原保育指導課長	<p>資料3ページを御覧ください。</p> <p>2022年度（令和4年度）福山市立幼稚園入園申込状況について、御説明いたします。</p> <p>表の一番上に、2022年度（令和4年度）入園予定児童数をお示ししております。1月31日時点の入園予定児童数は、3歳児が39人で、昨</p>

原学校保健課
長

年と比べて1人減。4歳児は106人で、11人減。5歳児は127人で、27人減。合計272人で、39人の減となっております。
以上です。

資料4ページをお願いします。

3 通学路の安全対策（緊急合同点検）についてであります。

(1) 趣旨についてです。

昨年6月、千葉県八街市で発生した通学路における児童の死傷事故を受け、交通安全を一層確保するため、市教委、学校、道路管理者、警察、関係団体等による緊急の合同点検を実施し、対策案を策定しましたので報告するものです。

次に、(2) 取組経過についてです。

千葉県八街市の事故を受けては、昨年7月に国から緊急合同点検の実施について依頼があり、9月から11月の間で緊急の合同点検を実施し、点検内容の集約を行いました。対策案につきましては、11月から策定案の検討を道路管理者、警察において行なうなかで、本年2月に、対策案を策定し、福山市通学路安全推進会議も開催したところです。

続いて、(3) 緊急合同点検の結果及び対策案についてであります。

ア 危険箇所抽出学校数64小学校。イ 合同点検箇所数・ウ 対策必要箇所数は、それぞれ318箇所であり、うち、対策案策定済は244箇所、策案調整中は74箇所であります。対策案調整中の箇所については、引き続き、調整を行ってまいります。エ 対策案策定済の内容につきましては、道路管理者、警察、学校・地域に分けて、お示ししております。(ア) 道路管理者については、歩道等の確保・歩車道境界の明示など歩行空間の整備やドライバーへの注意喚起、道路の維持補修などの事業で、国、県、市合計で181件の対策を策定しました。(イ) 警察については、横断歩道の修復や取締りの強化など、全体で77件の対策を、(ウ) 学校・地域については、標示看板等やストップマークの設置など、全体で63件の対策をそれぞれ策定いたしました。

最後に、(4) 今後についてです。

対策内容は、3月下旬にホームページへ公表する予定です。ソフト対策は、継続的に対策を講じながら、ハード対策を地域との連携のもと、関係機関ごとに計画的に実施してまいります。本市の対策につきましては、3月議会に補正予算をお願いし、前倒ししながら取り組むことで、早期の完了を目指してまいります。

以上でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

前田福山中・
高等学校事務
長

6ページを御覧ください。

4 福山市立福山中学校入学者選抜受検状況について御報告いたします。

2022年度（令和4年度）は、定員120名に対し、志願者数は397名、志願倍率は3.31倍でした。入学者選抜は1月22日（土）に行われ、受検者数は393名（欠席4名）、受検倍率は3.28倍でした。選抜結果については、2月2日（水）までに、受検者全員に郵送で通知しています。また、志願者が在籍する学校長には、2月15日（火）以降に、受検した志願者の選抜結果の一覧表を送付する予定です。

以上です。よろしくお願ひいたします。

三好教育長

報告事項について、何か御意見、御質問はありませんか。

金委員

幼稚園の入園申込状況ですが、福山市立の幼稚園が9園あって、認定こ

ども園が、市立大学附属と伊勢丘の2園ですよね。1歳児、2歳児、3歳児ですと4000人弱いると思いますが、私立の幼稚園や保育所も多いですから、市内の子どもたちの保育状況について、全体像がつかめません。そのため、この報告をする時には、4000人弱のうち、何%が保育所に行き、何%が幼稚園に行くのか。さらに、そのうち、市立は何%で、私立は何%なのか。また、認定こども園は、市立と私立を合わせて何園あって、今後このように増やしていく予定であるというような報告資料が欲しいように思います。

藤原保育指導
課長

公立幼稚園の入園児童の状況ですが、現在、子育て家庭のニーズが多様化しており、長時間保育施設で預かってほしいという家庭が増えている状況があります。教育時間終了後に、預かり保育を行っておりますが、夏休みなどの長期休業中の預かり保育というニーズも増えていることは、保育指導課としても課題と受け止めています。そういったことも含めて、児童の減少等を見ていきながら、今後の対応を考えてまいりたいと思っております。福山市の児童の状況については、市と、県が管轄する施設もありますので、全体像をお示しするのがなかなか難しい状況もありますが、担当課とも連携を取りながら考えてまいりたいと思っております。

菅田委員

この表だと、3歳児、4歳児、5歳児で、去年の表と比べてありますが、例えば4歳児だったら、去年3歳だった子の学年が上がって、今年4歳児の数に含まれますよね。そうすると、去年の4歳児の数と比べるとだけではなくて、学年が上がる前に途中でやめたり、学年が上がるときに増えたりといった、増減がわかるといいと思います。

公立の幼稚園は、数だけではない意味がある部分が大きいと思うので、そのニーズに応えているということがわかるような表のほうがいいと思います。すごく増えている、または減っている部分や、何歳児のニーズがあるのかという部分が示されているほうが、わかりやすいと思いました。単純に4歳だったら去年の4歳と比べたのでは、あまり意味がないように感じるのですが、いかがでしょうか。

藤原保育指導
課長

今、御指摘いただいたように、それぞれの年齢で去年と比較しますと、減少となっておりますが、4歳児の年齢で入った子どもが5歳児になったときには、増加となっております。また、それぞれの転居や、園の保育内容を選んで望んで来られているという状況もありますので、公立幼稚園が行っている教育・保育内容等を、広く情報提供する必要があると思っております。1月31日時点での入園予定児童数で、3歳児が39人となっているのですが、今後も、3歳児のニーズがあったということで、保護者の様々なニーズを捉え、保育・教育を提供していきたいと思っております。

金委員

市全体の、市立のみならず、私立の幼稚園や認定こども園も含め、その全体を把握したデータを提示していただきたいと思っております。せっかく、教育振興基本計画にも、就学前教育が大きな項目の中で示されています。にもかかわらず、データ不足と、こういった教育がされているのかが見えにくいところがあって、私も6年、この教育委員をやっていますが、この就学前に関する深い議論というのは、あまりなかったように思いますね。だから今回改めて整理されてみたらいかがかなと思っております。

三好教育長

今言われているのは、幼稚園の入園申込状況ということで発言いただいておりますが、すべての数字についてこのように考える必要があると思っております。数字を出すときは、全体の中で、その数字から何を伝えたいのか、何

を考えてほしいのかという意味で、幼稚園にとどまらず、他のものについても見直し・検討をお願いします。

金委員

福山市立福山中学校の選抜受検状況について、受検者数と志願倍率が減っていますが、人口に占める受検者数の比率を見ないと、状況はわかりません。福山市の人口台帳を見ると、1月末時点で、12歳児が4407人です。受検資格があるのは、12歳に達していない子もいますけども、12歳でいうと4400人くらいで、今年受検者数は、福山市の同学年の児童の8.9%、つまり約9%です。2018年度が一番多くて12.2%。12%から9%に減っていますが、これは、人口減だけの問題ではないと思いますね。同様に比率を取ると、2年前は9.9%で約10%。去年も10%あります。今年は8.9%で約9%ですね。徐々に低下しています。

これは、どう捉えて、今後どうするのが本来いいのか、自身もわかりませんが、たくさん受検してくれて、将来を担ってくれるような子が、たくさん育てていけるよという意味では、いろんな可能性を持った受検者が多いほうが良いと思いますね。市立中学校より10日ほど後にある附属は、この1.5倍くらいの受検者数がありますね。650~700人くらい受検しています。今、この現状をどのように認識されて、今後どうするのかということ、このデータから考えていただいて、教えていただきたいなと思います。

前田福山中・
高等学校事務
長

受検者の減少について、様々な才能を持った生徒たちを集めていくという点においては、減少していることはよくないと思うんですが、これが一過性のものなのか、それとも継続していくのかについては、わからないところもあります。附属につきましても、受検者数が多いということですが、こちらにも減少してきている状況を確認しております。今後、他校の状況や、本校に入学した生徒についても聞き取りなどをして、いろいろな方面から分析をしてまいりたいということ、校長が申しておりました。市内のどこから受検しているかも含めて、様々な観点から分析したものを、またお示しできればと思いますので、よろしくお願いいたします。

菅田委員

今、説明の中で、一過性のものかどうかを分析してということをおっしゃっていましたが、もうずっと継続して減ってきているように思います。親と子が、受検する学校を考えると、その学校がどういう学校なのか、どれだけ魅力的なのかということが、一番大切なところだと思うんです。市立がどれほど素晴らしい学校なのかということ、もっと受検生のみなさんに広く知っていただき、市立に通うことで、自分の未来の夢や友達環境といったところで、どれだけ素晴らしい学校生活を送れるのかというメッセージをしっかりと伝えることができれば、大きく受検生が減っていくということもないと思います。

もちろん、勉強だけではなくて、学生生活の充実といったところで、今、市立が変わろうとしている部分、変わらずにやっつけようとしている部分を、もっともっとしっかりと伝えていくというのが、大切なかなとすごく思いました。もちろん、受検してきた子どもたちに、どうして受けようと思ったのかを聞いて、その部分を活かしていくことも大切だと思いますが、やはり、もうちょっとしっかりと、ビジョンをアピールしていくことをしていただけたらなと思います。受検者数が、市立がやっていることに対しての評価みたいになってしまうので、もったいないです。先ほども幼稚園の時に言いましたが、数だけではない部分というのがあると思うので、しっかりそういうところを伝えていっていただきたいと思いま

	す。
前田福山中・ 高等学校事務 長	委員もおっしゃる通り、本校の魅力というのはあると思います。また、様々な取組も行っております。そういったものをもっとPRして、本校の良いところ、めざす生徒像、夢をかなえるといったところを、もっとアピールしていくためにも、PRしていく方法等を検討していきたいと思いません。
本宮学びづく り課長	子どもたちが、学校で日々、どういったことに取り組んでいるのかというところで、例えば、国際交流や、地元の企業と連携した探究学習など、日々の学びの中身を充実させ、それを発信していくことが必要であると思っております。
横藤田委員	メールで、福山高校の入試状況の連絡があったと思うんですが、あちらは1.66倍で、去年に比べて、かなりの募集人員が増えているという報告がありました。これは、迫田監督の影響だったのかどうか、その要因もまだお聞きしていないんですけども、高校が上がって、中学が下がっているというのは、何か相関関係があるとか、教育委員会側として分析はされていますか。
前田福山中・ 高等学校事務 長	まだ、そういった分析等はできておりませんが、野球部の関係というのも、いくらかはあると思われれます。ただ、本校では英語教育に力を入れているというところで、留学をしたいといった志願者が多く見受けられたと思います。そういった点でいえば、本校が取り組んでいることが、認められてきている部分もあるのかなと感じております。中学校が下がって高校が上がったというところについては、まだ十分な検討はできておりません。
横藤田委員	是非、そのあたりの関連性を調べていただきたいと思います。高校の場合、劇的な増加なので、何か大きな要因があったのではないかという気がします。
小丸委員	福山市立中学・高校の、子どもたちの学校の取り組み方、内容、カリキュラム、それをもっとPRするとよいと思います。受検する小学校、中学校には発信されていると思いますが、学校での生活、取組の内容をもう少し発信したらよいのではないかと思います。学園祭とか、子どもたちのいろんな写真を見せていただいて、やっぱり目で見るとは、すごくアピールがあると思うんです。そういう発信をされたりしたらいいのではないかと思います。
前田福山中・ 高等学校事務 長	行事等につきましては、ホームページでお知らせしておりますが、そういった取組についても、もっと強化をしていくべきだと思っております。
三好教育長	他にいかがですか。
全教育委員	(なし)
三好教育長	それでは、これより秘密会とします。 傍聴人は退席してください。

(傍聴人 退席)

三好教育長

予定しておりました議案は全て審議いたしましたが、他に何か、ありませんでしょうか。

全教育委員

(なし)

三好教育長

ないようですので、本日の教育委員会会議はこれで終わります。

【閉会時刻 午前10時30分】